

令和8年度 安芸市立伊尾木小学校 学校評価書及び学校関係者評価書

安芸市立伊尾木小学校											
◎学校教育目標 「豊かな心を持ち、共に学び合う、元気でたくましい伊尾木っ子の育成」				【評価基準】 A：十分満足(85%以上) B：おおむね満足(70~85%未満) C：もう少し努力すべき(55~70%未満) D：大いに努力が必要(55%未満)							
項目	中長期経営目標	短期経営目標	評価項目	達成基準	達成状況		自己評価		改善方策	関係者評価講評	関係者評価
確かな学力・指導力の向上	確かな学力を身につけさせる授業づくりの推進	○各種学力調査(全国学力調査、県学力定着状況調査、安芸市版学力調査)において全国(県)平均(算数は+3.0P)以上の学力が身につけている	○スマイルドリル、チャレンジタイム、放課後加力学習等を活用して基礎学力定着への取り組み ⇒各種学力調査(全国学力調査、県学力定着状況調査、安芸市版学力調査)	⇒各種学力調査(全国学力調査、県学力定着状況調査、安芸市版学力調査) 国語(全国(県)平均) 算数(全国(県)平均+3) 理科(全国(県)平均)							
		① 各種学力調査：全国平均(県版では県平均)+3.0P以上(算数は+5.0P)以上 ② 主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びが実現している(質問紙の肯定的回答が全国以上になっている) ③ タブレット端末を利用して、個別学習や協働学習の充実を図っている	○主体的・対話的で深い学びが実現しつつある(質問紙の肯定的回答が全国以上になっている) ○ユニバーサルデザインを意識した教室環境、授業づくり ○生徒指導の三機能(「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」)を生かした授業づくり ○授業スタンダードをベースに、教科の見方・考え方を働かせながら、ICTを活用して、「習う」から「学ぶ」への授業観の転換を図る(単線型から複線型へ) ○反省的思考や自己評価を促す振り返りの工夫 ○家庭学習の手引きの作成と継続的な指導を行い家庭学習の習慣をつける	⇒生徒質問調査「友達の意見を聞いて、新しいことに気付いたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがありますか」肯定的回答が全国以上 ⇒全校授業研究会(算数科を中心に、全担任が行う) ⇒授業評価の徹底と活用(児童・参観者)							
			○タブレット端末を利用して、個別学習や協働学習の充実を図っている	○1人1台タブレット端末やデジタル教材を日常的・効果的に活用した授業の促進を図る	○1人1台タブレット端末などのICT機器を、授業で「ほぼ毎日」活用している教員の割合100%						
健康な体と心の育成	児童が健康・安全に過ごせる環境・体制づくり	○全国体力・運動能力調査：体力合計点全国平均以上 ○高知県体力・運動能力、生活実態調査：体力合計点県平均以上 ○児童アンケート「休み時間や家に帰ってから運動するように心がけている」90%以上	○「わたしたちの体育」「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」の活用 ○一輪車検定カード・縄跳び及び持久走がんばりカードの活用 ○水泳、陸上、持久走の強化	⇒「わたしたちの体育」の活用90%以上 ⇒持久走大会に向けた取り組み ⇒学校評価アンケート「体育が好き」「運動が楽しい」「休み時間や家に帰ってから運動するように心がけている」90%以上 「体育の授業などを工夫している」80%以上 ⇒全国体力・運動能力調査：体力合計点全国平均以上 ⇒高知県体力・運動能力、生活実態調査：体力合計点県平均以上							
		① 全国体力・運動能力調査：体力合計点：全国平均以上 ② 高知県体力・運動能力、生活実態調査：体力合計点が県平均以上 ③ 生活リズム調査の点数が向上している	○生活リズム調査の点数が向上している ○長期休暇明けの保護者、養護教諭と連携した生活リズムチェックの実施 ○「いおきっこノーマディアデー」の実施 ○食育の家庭・地域と連携した取り組み(給食試食会、地域人材を活用して調理実習)	○生活リズムチェックの実施⇒学期に1回以上 ○学校評価アンケート「望ましい生活習慣を身につける取り組みをしている」85%以上 ○食育の家庭・地域と連携した取り組み2回以上 ⇒生活リズム調査の点数が向上している							

豊かな心や感性の育成	心豊かで思いやりのある児童の育成	○全国調査児童質問紙「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」の肯定的回答、全国平均＋5P以上	○生徒指導の三機能を生かした教育活動特別活動の工夫、縦割り班を活用した活動の実施を通して不登校の未然防止につなげる ○道徳授業公開や人権参観日の実施、「高知の道徳」を使った家庭・地域との連携 ○道徳意識調査：年2回の実施 ○いいところ見つけの木の取組（年2回） ○あいさつを基本として、発達段階に応じた基本的生活習慣を身につけさせる ○特別支援教育の充実と推進 ○読書指導の充実	⇒学力調査児童質問調査　自尊感情・規範意識の肯定的回答全国(県)平均値以上 ⇒学校生活アンケート「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」の肯定的回答90%以上 ⇒読み聞かせの実施（月1回）、目標達成者の表彰					
		○長欠児童のうち、前年度と比較して欠席日数が減少した人数や割合が増加している	○いじめ・不登校等の早期発見対応及び課題改善に向けた組織的な指導・支援体制を強化する(学校生活アンケート年2回) ○通常学級に在籍する配慮が必要な児童全員の「個別の指導計画」の作成と継続的支援の実施	⇒通常学級に在籍する配慮が必要な児童全員の「個別の指導計画」の作成100% ⇒前年度と比較して欠席日数が減少した人数や割合が増加している					
開かれた信頼される学校づくり	地域・保護者に信頼される学校づくり	○学校における働き方改革が推進されている(夏季休業中に10日以上休暇取得した教員の割合が増加している)	○グループウェアの活用 ○勤務時間管理の徹底を図り、最終退校時刻を設定している ○業務支援員の効果的な活用	⇒グループウェアの活用率90%以上 ⇒最終退校時刻までの退校率90% ⇒時間外勤務月4.5時間以上2人以内					
		○学校評価「先生や学校に相談している」肯定的評価が前年度より上がっている	○学校評価の実施 ○児童の意見を取り入れた学級経営、学校運営 ○行事後等にこまめに児童アンケートを実施する。 ○OSCの積極的な活用 ○こまめな家庭連絡、家庭訪問を心がける	⇒学校評価「お子さんは、悩みや困ったことについて、先生に相談していると思いますか」「あなたは、お子さんについての悩みや困ったことについて、教職員（学校）に相談していますか」肯定的評価前年度以上					
		○「児童が自らの命を守るために必要な知識・技能を身につけている」、災害時に「一人で避難できる」：肯定的回答85%以上	○南海トラフ地震や台風・大雨、土砂災害等について、発達段階や地域の特性に応じた防災教育を行っている ○避難訓練、防災の授業の実施 ○「高知県安全教育プログラム」の活用 ○警察等の関係機関と連携した「防犯教室」を実施する	⇒避難訓練年間5回以上、防災の授業5時間以上 ⇒「高知県安全教育プログラム」の活用率100% ⇒毎月、校内安全点検を実施し、対応策をとる ⇒「児童が自らの命を守るために必要な知識・技能を身につけている」、災害時に「一人で避難できる」：避難訓練振り返り肯定的回答85%以上					
		○保小の教職員が、子どもたちの育ち中心の対話で、相互理解や実践を深めている	○カリキュラム作成に反映させる保小連絡会、校内研修（保育所交流）の実施	⇒保小で、協議までの参加をめざし、それぞれの研修を相互に案内する					
		○「地域とともにある学校づくり」を推進するとともに、幅広い地域住民等の参画を得て地域全体で児童を見守り育てている	○民生委員定例会への参加、学校運営協議会の開催、地域と連携した見守り活動や地域協働活動の実施 ○総合的な学習の時間の中に地域についての学習を位置づける ○地域貢献の取組として、地域行事に積極的に参加する ○PTA主導による夜間避難訓練を地域を巻き込んで実施する	⇒民生委員定例会への参加 ⇒学校運営協議会の開催（年6回） ⇒総合的な学習の時間の中に地域についての学習を位置づける（3・4年は伊尾木洞、5・6年は銭太鼓とあなごう保存会） ⇒夜間避難訓練を年間3回実施する					
		○服務規律を徹底し、不祥事を生じさせない組織づくりを行い、不祥事発生事案〇を目指す	○不祥事発生防止委員会を設置し、研修を月に1回実施するとともに8月を強化月間として、教職員個々の意識の醸成を図る ○何でも相談しあえる風通しの良い職場づくりの推進に係る校内研修等の計画的な実施を図る	⇒不祥事チェックリスト年間10回実施 ⇒学校運営協議会への報告、協議					